

# 人・夢・技術グループ ●9248・プライム

## 長大橋梁で世界リードする長大が持株会社化 3年で100億円超の投資により成長基盤強化と新領域推進へ

長大橋梁分野で世界トップレベルの技術を持つ総合大手建設コンサルタント、長大。21年10月1日に持株会社体制へ移行し、人・夢・技術グループを設立した。同社では19年に策定した「長期経営ビジョン2030」の実現に向けて、4フェーズの中期経営計画を設定。「成長の基盤づくり」として第1フェーズが22年9月期に終了し、今期より25年9月期を最終年度とする第2フェーズが開始した。同フェーズのテーマは「更なる成長基盤確立に向けた投資」。人的・組織体制強化25億円、戦略的事業投資45億円、M&A 40億円と、3年で100億円超の成長投資を予定している。



塩釜 浩之取締役 常務執行役員

Profile●しおがま・ひろゆき  
1963年生まれ、兵庫県出身。大手地質コンサルタント会社で勤務した後、90年に長大入社。2010年、執行役員東日本スマートコミュニティ事業部長就任。社会環境事業部長、社会事業本部副本部長、管理本部副本部長、取締役常務執行役員経営企画副本部長などを経て、21年10月に人・夢・技術グループ常務取締役経営企画担当（現任）、及び長大の取締役常務執行役員経営企画担当に就任（現任）。

### 国土強靭化、再エネなど多角展開

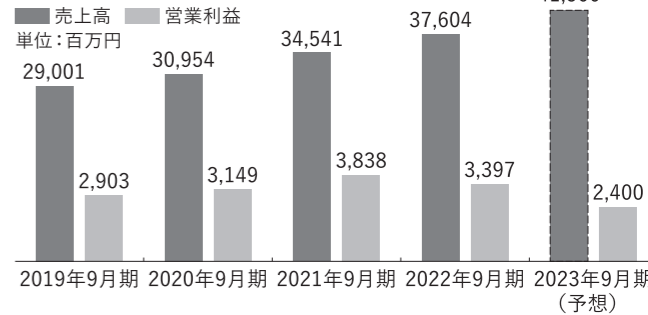
人・夢・技術グループは、「国土基盤整備・保全」、「環境・新エネルギー」、「地域創生」の3軸で事業を展開している。グループ中核である総合建設コンサル・長大の原点は、橋梁事業だ。瀬戸大橋の設計にはじまり、世界最大級の吊り橋・明石海峡大橋の設計など、世界的に技術力が評価されている。近年はグループをあげて、橋梁・道路・トンネルといったインフラの長寿命化計画や、河川などの自然災害対策を行なう「国土強靭化」、地熱・風力・バイオマスなどの「再生可能エネルギー」、高齢化社会や過疎化に対応した「未来のまちづくり※」など、事業の多角化を推進。海外のビッグプロジェクトにも積極的に参画している。

22年9月期の連結業績は、主力の道路事業・構造事業を中心とした受注増加を背景に、売上高は前期比8%増の376億400万円増取。営業利益は同12%減の33億9700万円となったが、持株会社化によるコスト増加、新事業領域への先行投資、研究開発投資などの投資枠拡大によるものだ。

### 今期始動の中計第2フェーズ 3年間で100億円超の成長投資

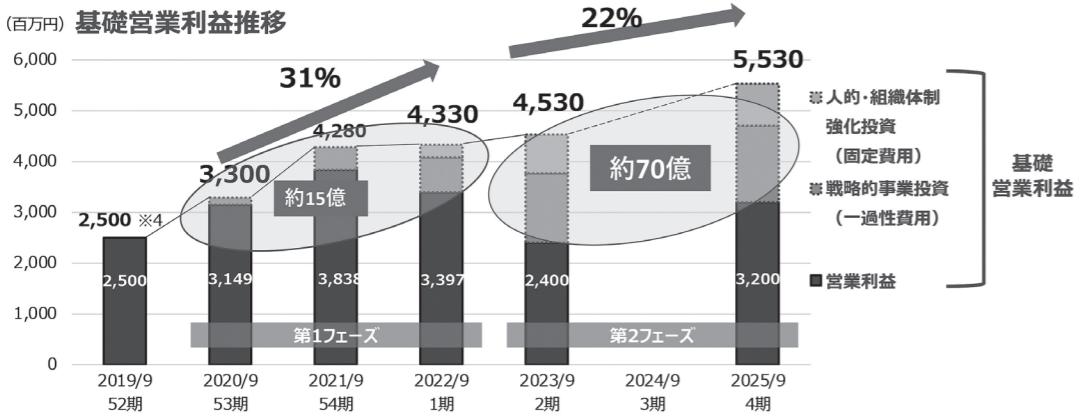
同社では「長期経営ビジョン2030」を策定し、31年9月期の売上高600億円、営業利益50億円、従業員数2600名の目標を掲げている。その実現に向け、22年、25年、28年、30年9月期それぞれをゴールにした4フェーズの中期経営計画を設定。前期には第1フェーズが終了し、3か年で売上は29%増、営業

■売上高と営業利益の推移



利益は17%増を実現した。今期からは第2フェーズがスタートし、25年9月期の売上高478億円、売上年平均成長率8.3%、営業利益32億円、社員数2400名を目指す。「4つの中計全てに意味を持たせており、第1フェーズは成長の基盤をつくる期間でした。グループ全体で年間10%ずつ、3年間で約30%売上を拡大するという当初の想定もクリアし、中計最終年度には持株会社体制へ移行しました。第2フェーズは成長基盤を確実なものとしながら、足

### ■「持続成長プラン2025」の経営指標と成長投資投資



元を固めるための投資期間。成長スピードを若干緩め、将来への投資や組織づくり、新事業開発、M&Aなどにリソースを配分します」（塩釜浩之）

### 之常務取締役

第2フェーズでは、25年までの3年間で人的・組織体制強化25億円、戦略的事業投資45億円、M&A 40億円と、合計100億円超の投資を予定している。このうちM&Aでは既に22年10月にピー

シーレールウェイコンサルタント、及び比国の人材派遣企業2社を新たにグループの一員として迎えた。M&A以外では、別表「持続成長プラン2025の経営指標と成長投資」の通り、第1フェーズで15億円だった先行投資（人的・組織体制強化投資と戦略的投資の合計）を、第2フェーズでは70億円へ拡大する。その影響で一時的に営業利益は減益となるが、基礎営業利益（投資コスト計上前の粗利）ペー

### 空飛ぶクルマ等 主に新領域4事業へ投資

長寿命化を背景に旺盛な公共事業投資が継続しており、既存事業のオーガニック成長が巨額の先行投資を下支えしている形だ。

「戦略的投資のメインは、50年後の未来を支える新領域4事業と、海外展開の体制強化です。新領域4事業とは、新たなモビリティとして世界各国で機体開発や法整備が進む「空飛ぶクルマ」、高速・高精度な計算処理により「クオンタムシミュレーション」実現の強力な推進力となる「量子コンピュータ」の社会実装、IoTやAI技術を活用し都

市部で享受するサービスを地方でも可能にする「スマートシティ・デジタル田園都市」、地球温暖化に対応した「水上都市」の実現です。いずれもコンサルワークに代表される請負事業にとどまらず、事業者として社会に展開していきます」（同氏）

目新しい事業への先行投資という点では、同社には過疎地域や高齢化社会に備えた『デマンド交通をベースとした新たなモビリティ事業』の展開がある。デマンド交通に着手した18年前は夢物語として捉えられていたが、現在では新モビリティサービスとして埼玉県和光市などで導入準備を進めており、実現は目前

だ。「4領域の中でも、空飛ぶクルマと量子コンピュータは世界各国で覇権争いをしており、日本も遅れずに対応しようとしている。当社でもそれぞれの官民協議会など国内トップの企業に混じり参画しています。実現スピードは日を

追うごとに早まっています。投資へのリターンは2〜3年では難しいですが、中期経営計画第4フェーズくらいにはリターンを得ていきたいと考えます」（同氏）  
同社では新たな株主還元を検討しているところだ。今期の配当性向は基礎営業利益をベースに29.7%を予想して

**【人・夢・技術グループ】株式データ**

コード 9248 市場 東証プライム

直近株価 **1,495円** (23.4/3終値)

年初来高値 **1,776円** (23.1/4)

年初来安値 **1,360円** (23.2/6)

時価総額 **141億円**

PER **11.2倍** 配当利回り **2.68%**

PBR **0.69倍** 決算 **9月**

2022年9月期 業績		前期比
売上高	376億400万円	—
営業利益	33億9,700万円	—
経常利益	38億9,100万円	—
当期純利益	23億3,300万円	—

2023年9月期 連結業績予想		前期比
売上高	415億円	10.4%増
営業利益	24億円	29.4%減
経常利益	24億5,000万円	37.0%減
当期純利益	12億円	48.6%減

値動き

※同社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び対前期増減率は無い